

## 令和2年3月定例会一般質問表

2月27日、28日、3月2日

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	山 口 裕 昭 議 員	<p>1. 新たな総合計画策定に向け、持続可能な開発目標 (SDGs) の位置づけについて</p> <p>国連加盟国が2030年末の達成を目指す「持続可能な開発目標 (SDGs)」について全国の自治体や民間企業などでその理念を施策等に取り入れる動きが見られる。</p> <p>昨年6月議会でSDGsへの本市の取り組みについて質問をさせて頂いた際に「現在総括を行っている第5次総合計画の中には、SDGsの名称は出てこないが、その中にはSDGsの理念に沿った施策が数多くある」との答弁を頂いた。</p> <p>また、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略2018改訂版」では、自治体におけるSDGsの達成に向けた取り組みを推奨している中、昨年的一般質問では、今後第6次総合計画への反映を検討するとのことだった。</p> <p>このことを踏まえ、本市の今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 第5次総合計画の総括で見た、SDGsへの取り組み</p> <p>① SDGsの理念を総合計画に落とし込むために、第5次総合計画の総括を行う時点で市の施策との整合性をとり、項目ごとにカテゴライズする必要があったと考えるが、昨年6月から現在までの間にその作業はどの程度進んだのか。</p> <p>(2) 第6次総合計画への展開について</p> <p>① 今後計画の策定にあたり、明確にSDGsの理念を反映させることを考えているか。</p> <p>② SDGsには17の目標が定められているが、現在考えている目標へのアプローチがあれば項目ごとに教えて頂きたい。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
1	1 番 山 口 裕 昭 員	<p>2. 記録的少雪に対する対応について</p> <p>本年度はこれまで記録的な少雪傾向が続いているが、これは市内在住の高齢者に話を伺っても記憶にないと言われるほどの異常な状況と言える。</p> <p>一般の市民にとっては除雪や排雪にかかる手間と費用が掛からないこと、通勤通学において支障が起きないことから、概ね暮らしやすいと捉えられることが多いが、市内の除雪業者は市道除雪の他に民間施設の除雪を請け負っている場合が多く、冬期間の収入面で非常に影響が大きいものと思われる。</p> <p>平年の水準を大きく超える豪雪については、対策本部体制を取るなど災害との認識が一般的となるが、平年の水準を大きく下回る少雪についても、考え方によっては雪害と言える。</p> <p>また、この記録的少雪により冬期間に予定していた収入が不足することも推測され、この状況を放置すれば来年度以降の除雪体制に悪影響を及ぼすことが懸念される。</p> <p>この状況を踏まえ、現状と今後の対応などについて何点か伺う。</p> <p>(1) 現状の把握</p> <p>① 平年の降雪水準の平均と、本年度現在までの降雪量。</p> <p>② 平年の市道除雪時間平均と、本年度現在までの除雪時間。</p> <p>(2) 本市の対応について</p> <p>① 現在までの少雪に対し、除雪業者へ行っている対応。</p> <p>② 今後、少雪の影響を受けた除雪業者に対する支援について。</p> <p>(3) 記録的少雪により懸念される多方面への影響について</p> <p>① 農作物に対し懸念される影響と、その対応策について。</p> <p>② 今後の降水量によっては夏以降の水不足も懸念されるが、その際の対応策について。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>1. 高校再編計画への取り組み</p> <p>昨年6月3日、えくぼプラザにおいて「東置賜地区における再編整備計画」の地域説明会が開催され聴講しました。</p> <p>現在、東置賜地区における高校の配置は、私立高校2校と、県立高校が、米沢4校、その他地区3校の7校となっています。「東南置賜地区の県立高校再編整備計画（骨子案）」では、中期的再編と長期的再編の具体的な高校配置案をA案・B案として、2つの案を併記しています。</p> <p>A案・B案の違いは統合する高校の問題であり、中期的再編では、令和7年度に米沢地区の高校を1校減とし、長期的再編では、令和17年度頃に、その他地区の3校を1校とする計画です。少子化の進行を見据えた県教育委員会の判断であり、止むを得ないと考えますが、残る1校は高畠・南陽・置農のいずれかになります。</p> <p>私は、何としても南陽高校が残って欲しいと思っています。現在の高校は、地域活動を推進する方向で、「地域に開かれた高校」、「地域に根ざした高校」、さらに「地域とともに歩む高校」へ変わってきています。</p> <p>南陽高校も「地域を元気にする高校」として、生徒会活動、ボランティア活動等にも意欲的に取り組み、郷土に根ざし、その発展に資する人材を育てる高校として、努力をいただいているところです。</p> <p>以上を踏まえ、以下について市長のご見解を伺います。</p> <p>(1) 地域振興の核としての連携強化</p> <p>高校生は、社会人と違って、社会の慣例やしきたりなどにとらわれることなく、社会の問題・矛盾を客観的にとらえ、どうすればいいか、あるべき社会を考え、構想することができる、そんな立場にいます。</p> <p>ユニークな視点から発想でき、大人ではできない、ユニークな地域づくりや独創的な商品開発など、先駆けとなる活動ができる立場にあります。高校生ならではのユニークな活動を行い、地域に新しい風を起こしてほしい。そんな思いや願いを私は持っています。南陽高校と地域課題の解決等の学びを実現する取り組みを推進することで、地域振興の核としての連携強化を図るべきと考えます。市長のお考えを伺います。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
2	2 番 島 津 善 衛 門 議 員	<p>(2) 具体的な対応 市長は、昨年11月7日に開催された宮内地区の「市長とみらいトーク」で、「絶対に南陽高校を無くしてはいけないと思っている」と発言なさっています。具体的な対応をどのように考えているのか伺います。</p> <p>2. GIGA スクール構想について</p> <p>政府は情報端末の整備について、2022年度までに「3人に1台」を目指し、年間約1,800億円を地方自治体に補助するなどしてきましたが、2019年3月末時点の実績は全国平均で5.4人に1台にとどまっています。都道府県別で見た場合、1.8人に1台（佐賀県）から7.5人に1台（愛知県）までのばらつきがあります。</p> <p>経済協力開発機構（OECD）が2018年に実施した国際教員指導環境調査（TALIS）では、「生徒に課題や学級での活動にICT（情報通信技術）を活用させる」という項目に「いつも」または「しばしば」と回答した割合が17.9%と48の参加国の平均（51.3%）をはるかに下回り、下から2番目でした。</p> <p>この課題に対して、2023年度までに「児童生徒1人1台情報端末、および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させよう」という「GIGAスクール構想」で、総額が4,000億円を超える巨額が投じられようとしています。</p> <p>2019年度補正予算には、小学5、6年と中学1年の全児童・生徒の約400万人分を教室に配備し、無線LAN環境を整えるとして、2,318億円を計上しました。</p> <p>ランドセルに入れる持ち物から、授業の進め方まで大きく変わる「GIGAスクール構想」により小中学校は、今後、ソフト面・ハード面でどのように変化するのでしょうか。</p> <p>以上を踏まえ、以下について市長のご見解を伺います。</p> <p>(1) 当市の学校におけるICT環境の整備状況は。</p> <p>(2) 今後の導入予定スケジュールは。</p> <p>(3) 自治体の実質負担はどのようになるのか。</p>	市長 関係課長  市長 教育長 関係課長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	15 番 佐 藤 明 議 員	<p>1. 全世代型社会保障と拡充を求める施策について</p> <p>安倍首相は、2017年9月28日の衆議院の解散表明で「全世代型社会保障への転換」を打ち出し、世代間の公平論の観点から社会保障に大ナタを振るう姿勢を示しました。その流れは、2012年8月に可決・成立した「社会保障と税の一体改革関連法8法」にあります。関連法の中核をなす社会保障制度改革推進法第2条第4項では「国民が広く受益する社会保障に係る費用をあらゆる世代が広く公平に分ち合う観点から、社会保障給付に要する費用に係る国及び地方公共団体の負担の主要な財源には、消費税及び地方消費税の収入を充てるものとする」と書かれ、その改革が、全世代への給付拡充論ではなく、全世代の負担の公平論から述べられています。また、第2条第1項で、社会保障制度改革は「国民が自立した生活を営むことができるよう、家族相互及び国民相互の助け合いの仕組みを通じてその実現を支援していくこと」としていることから、その狙いが理解できます。その後、社会保障制度改革推進法に基づき「社会保障制度改革国民会議」が設置され、「確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋（報告書）」（2013年）が政府に提出されました。同報告書に初めて公式に「全世代型の社会保障に転換する」との文言が記されました。そして、2019年6月21日に閣議決定された「骨太の方針2019」では、「2019年10月には、全世代型社会保障の構築に向け、少子化対策や社会保障に対する安定的な財源を確保するため、また、社会保障の充実と財政健全化にも資するよう、消費税率の10%引き上げを」し、全世代型社会保障への転換は、消費税増税を国民に容認させる口実であることが浮き彫りになりました。こういった状況の中で市としてどのように認識をされ、どのように対応されるのか市長のご見解を賜りたい。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
4	15 番 佐 藤	<p>2. 「地方創生」と人口減少について</p> <p>総務省は1月31日、住民基本台帳に基づく2019年の人口移動報告を発表しました。東京圏は転入者が転出者を上回る「転入超過」が前年より8,915人多い14万8,783人となり、3年連続して拡大しています。東京圏の転入超過は、外国人を含めた集計を始めた14年以降6年連続です。日本人に限ると24年連続で、東京一極集中に歯止めがかかっていない状況が続いています。都道府県別では本県も含む39道府県が人口流出に当たる「転出超過」となり、地方移住などを後押しする政府の地方創生は効果が上がるどころか後退をしているのが現状であります。</p> <p>総務省の担当者は「高水準の教育や、好待遇の求人を求める若者が吸い寄せられている」と分析をしております。施政方針では「人口減少、少子高齢化に正面から立ち向かい、持続可能な社会を構築していかなければならない」と述べておられます。具体的にはどのような方針を示し対応されるのか。市長の認識とご見解を賜りたいと存じます。</p>	市 長
	明 議 員	<p>3. 介護保険事業について</p> <p>(1) 来年4月から第8期の介護保険事業計画が新たにスタートするわけですが、いつ頃までに事業計画が策定されるのか。</p> <p>(2) 介護保険運営協議会を設置をすることを条例や施政方針で述べておられますが、具体的にはいつ頃までに設置するのか、どのような方々を人的配置するのか。</p>	市 長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>令和2年度は「確かな未来へ 夢はぐくむまち 南陽」をめざす都市像としてスタートした、第5次南陽市総合計画も最終年度となり、令和3年度からの第6次総合計画の策定に向け重要な年と位置づけられました。来年度の施政方針も総合計画の大綱である「教育・産業・健康」について主要施策の概要が示されました。</p> <p>子どもたちが夢や希望の持てる南陽市、市民が生き生きと過ごせる南陽市の実現のための施策についてお伺いします。</p> <p>1. 「教育」のまちづくり</p> <p>(1) 放課後子ども教室について</p> <p>放課後における安全な居場所づくりと多様な体験を通して、次世代の育成を図るため、新たに宮内小学校へ平日毎日型の放課後子ども教室を拡大するとともに、市内全小学校における放課後子ども教室の運営を継続し、地域社会全体で子育てを支えるとされています。学校ではできない、スポーツや文化活動が体験できる取り組みなどで、子どもたちの身体や心の成長に大きく寄与するものと期待するが、心配される課題等もあるのではないのか、お伺いします。</p> <p>① 現在行われている沖郷小学校、赤湯小学校の放課後子ども教室の登録人数は何人か。その内、週3回以上の利用者は何人ぐらいか。</p> <p>② 指導者やスタッフ体制の状況はどうなっているか。</p> <p>③ 最近、子どもの誘拐や行方不明など心配な事件がおきている。現在、各小学校では集団下校が行われているが、放課後子ども教室では単独での下校と聞いている。下校時の安全確保はされているか。非常時の連絡体制や地域との連携は。</p> <p>④ 長期休業や学校休業日などでの体験プログラムはどの程度行われているか、指導者の状況は。</p>	市 長 教 育 長 関 係 課 長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	11番 板垣 致江子 議員	<p>2. 「産業」のまちづくり</p> <p>(1) 菊文化の継承について</p> <p>第107回の南陽の菊まつりは、熊野大社周辺と花公園会場の2会場での開催が大変好評で、入場者が前年並みの52,400人と報告されました。市も菊のまち南陽として、菊文化の継承、菊づくりの後継者の育成を図るとされています。そのための講習会も行われ、講習生も増えているようですが、菊花展示部門を担っていたでいる菊花会の方々の状況の変化もあり、それぞれの負担が増えているのではないのでしょうか。歴史と伝統の南陽の菊まつりを守るため、市としても新たな対策も必要と考えます。市長のお考えをお伺いします。</p> <p>① 菊づくりに興味を持って従事してくれる地域おこし協力隊員の募集なども菊文化の継承の担い手の掘り起こしになるのではないのか。</p> <p>(2) 道の駅の整備について</p> <p>市長とみらいトークでも道の駅の整備や要望などの意見が出されていたが、市長の回答にあったように南陽市の物産はワインをはじめ農産物や商工会の一店逸品の商品など大変魅力的な物が多くあります。しかし、一般的に販売するところがなく、生産者にとっても、観光客、市民にとっても大変残念なことです。観光に来る方たちは南陽市での買い物を楽しみに来るはずでず。試飲をしたり、目で楽しんだり、南陽の良さをたっぷり満喫して買い物してもらおう。そんな道の駅が必要ではないのでしょうか。市長のお考えをお伺いします。</p> <p>(3) 赤湯駅の名称変更について</p> <p>昨年5月にある会から、600名近い署名が集められ「赤湯駅」を「赤湯温泉駅」へと変更としてはどの提案の要望が出されたとお聞きした。市からの回答は現状では難しい。JRの前例では数億円かかる。費用対効果を勘案しても予算化は困難との文書を頂いたとのことでした。もっと丁寧な回答の仕方もあるのではないのか。600名の市民の思いは重く、市としてできることはないのか。クラウドファンディングへの協力やふるさと納税の使い道など。市長のお考えをお伺いします。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
6	6 番 白 鳥 雅 巳  議 員	<p>1. 温浴施設建設計画について</p> <p>(1) 令和3年度建設予定としている温浴施設がどのような経緯で浮上したのか。赤湯選出議員はある程度承知しているが改めて説明をお願いします。</p> <p>(2) 施設計画が現在どの段階まで進み、推移しているのか伺います。</p> <p>(3) 設計建物の構造、また形状（デザイン）は誰に依頼し、設計業者はどこか伺います。</p> <p>(4) この施設設計に市長の要望は入っているのか伺います。</p> <p>(5) 施設完成後、赤湯財産区と施設の関わり、財産区の立ち位置は。また、施設管理はどのようにされるのか伺います。</p> <p>(6) この施設が南陽市民にとって有益であるが、将来負の財産となる危険性もはらんでいることも否めないと感じておりますが、市長の見解を伺います。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	6 番 白 鳥 雅 巳  議 員	<p>2. ハイジアパーク南陽の今後の運営について</p> <p>(1) 施設については、既存ボイラー等各機器の老朽化が進行し、いつ突然機能停止に陥るか分からない。「施設存続、また、このまま維持継続」か、また廃止すべきかなど様々議論されてきました。結論を出す時期にきているのではと思いますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 今後のあり方にかかる「有識者会議」メンバーとして参加させていただきました。令和元年5月から12月まで計4回開催され、各委員から様々貴重な意見が出されました。とりまとめた意見書が同年12月末に提出され、市長所感で「施設の老朽化も顕著となり一刻の猶予もない。十分な検討の上、早急に方向性を決定する」とのご返答でしたが、その方向性の決定はいつなのか伺います。</p> <p>(3) 温浴施設の建設と今後、ハイジアパーク南陽の対応が廃止となった場合、ハイジアを利用されている方の大半が宮内地区の方々だと思いますが、先のことも含めて検討しなければならないと思います。公平な検討対策をするべきと思いますが、市長の見解を伺います。</p>	市 長 関 係 課 長